

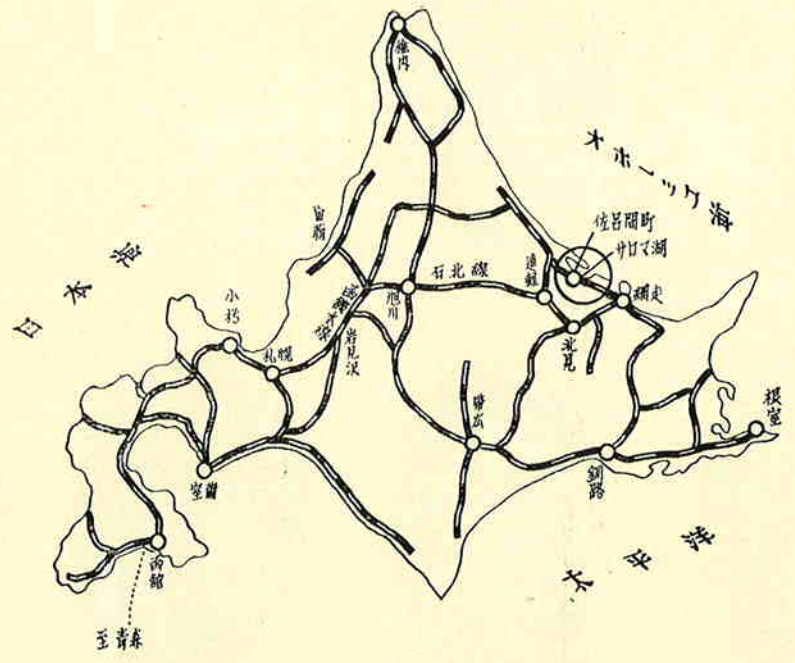
町勢要覽

1957



佐呂間町

佐呂間町位置圖





佐呂間町長
船木長一郎



佐呂間町助役
土田正



佐呂間町助役
出倉定夫



佐呂間町収入役
山口愛光



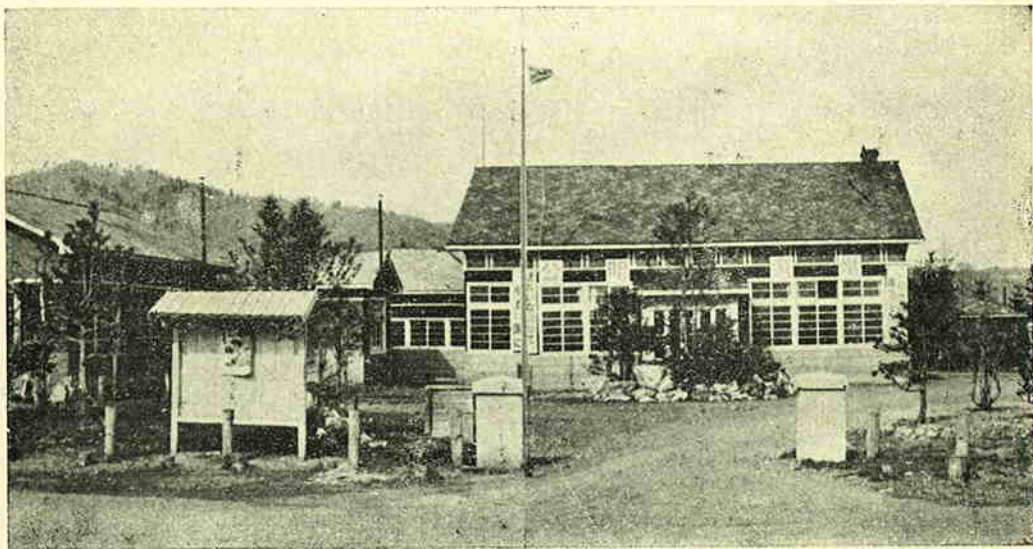
佐呂間町議会議長

山内春芳

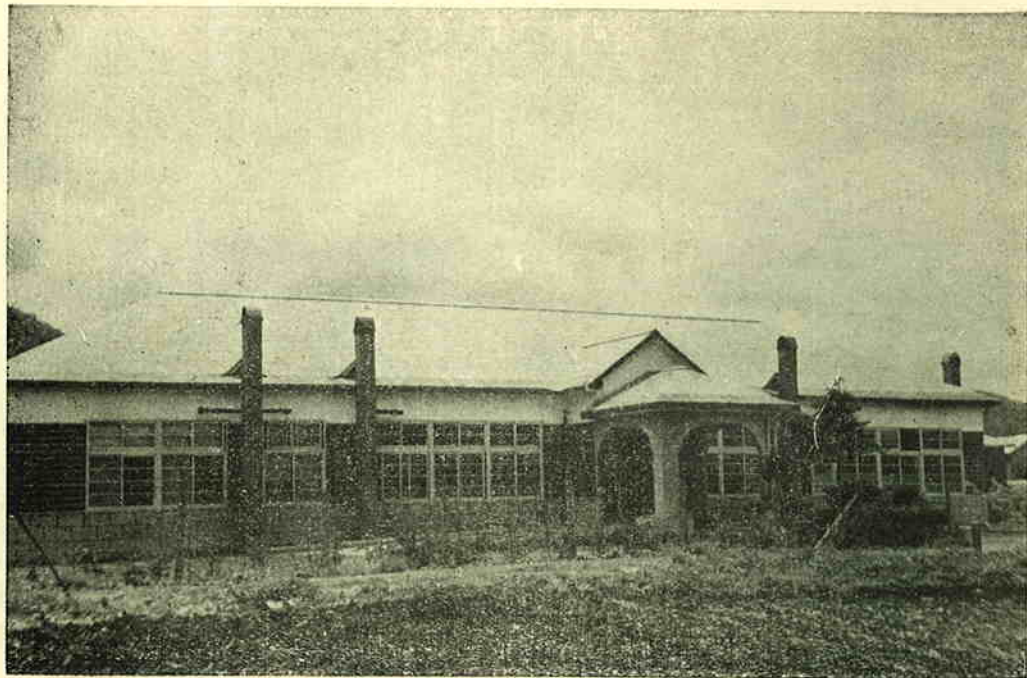


佐呂間町議会副議長

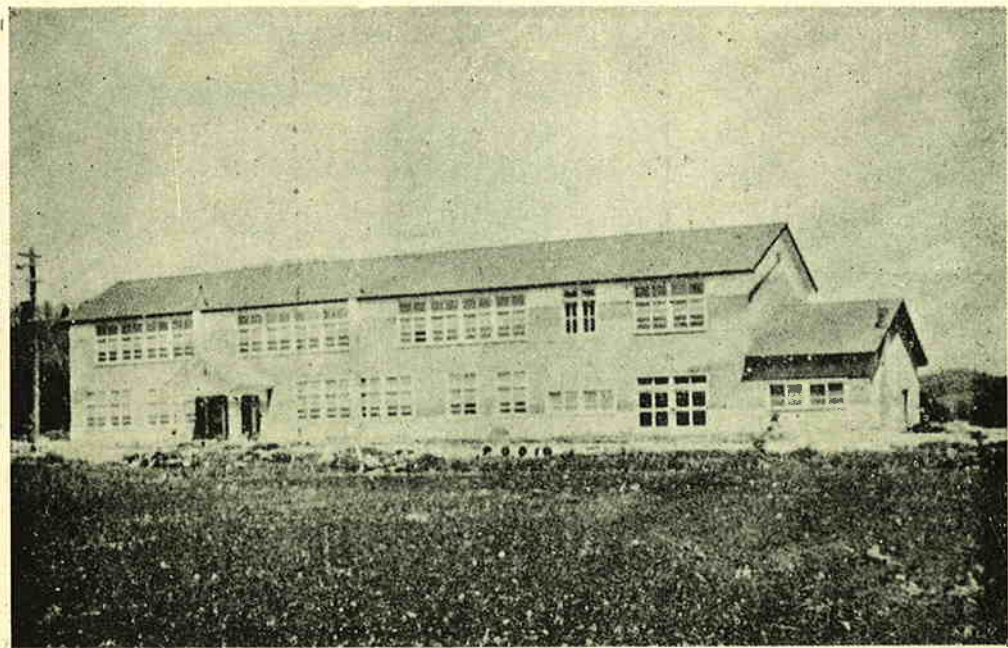
香川嘉太郎



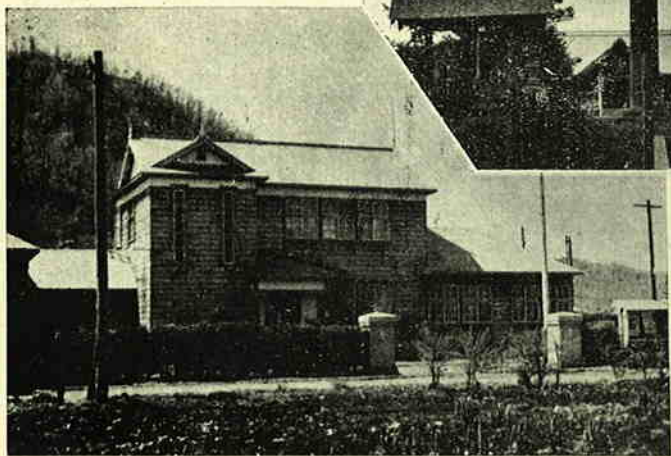
佐呂間町役場



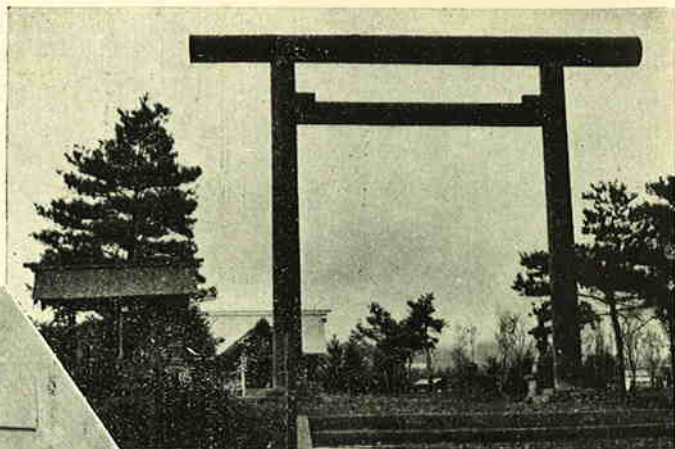
佐呂間国民健康保険病院



佐 呂 間 高 校



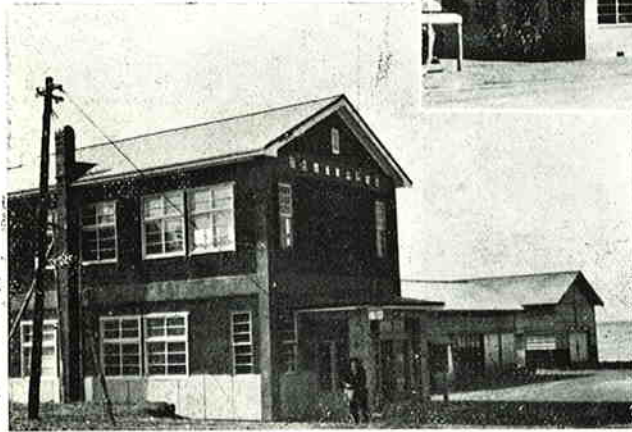
佐 呂 間 營 林 署



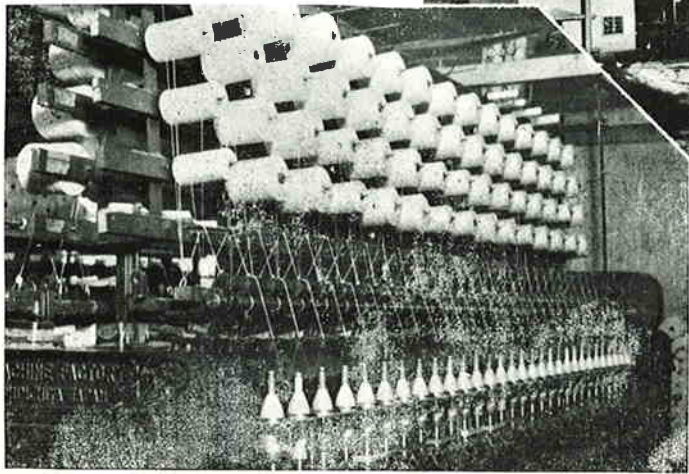
佐 呂 間 神 社



佐呂間町農業協同組合



佐呂間町漁業協同組合



北海道紡績工場内の一部



北海道紡績株式会社

観光の佐呂間湖

道立公園佐呂間湖は…

雄大な北海道の湖岸

美に恵まれ、夏の船

遊、釣魚、秋の錦繡

景勝の地として近年

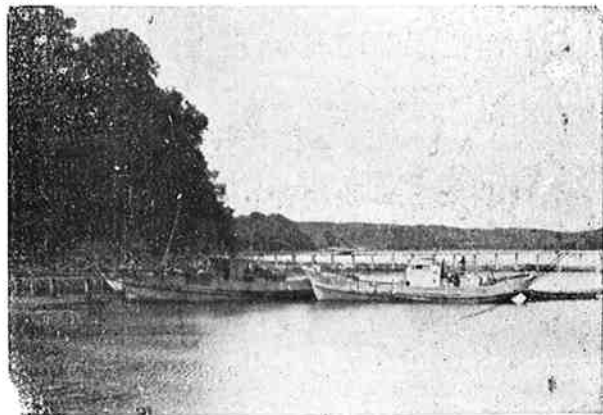
特に都人及び名士の

清遊が多い。

富 武 士 湖 岸



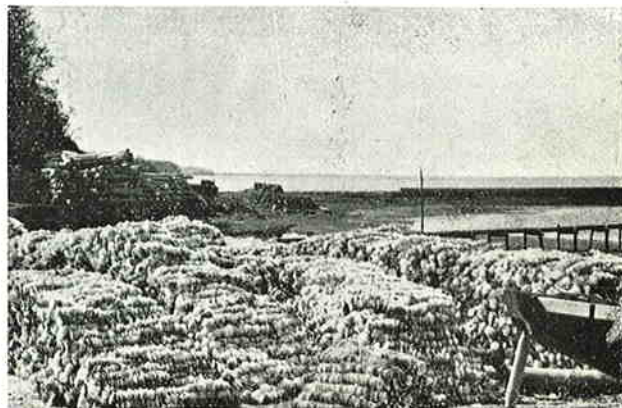
湖岸より円山を望む





浜 佐 呂 間 湖 岸

帆 立 の 種 貝





詞作 月野 正裕 中山 正裕
 曲作 月野 正裕 中山 正裕

伊藤久男・唄

サロマ湖の歌

一ア

サロマ湖の水はからいよ
 音く澄むとよ
 君知るや 君知るや
 思ひ焦がゆて泣く女の
 熱い涙がしみるからよ

二ア

悲の毎月に嘆くよ
 哀れ今宵も
 さい果のやい果の
 暗いオタンの森こえて
 遠く悲しく君よん声よ

三ア

サロマ湖の風は寒いよ
 空に凍りて
 音もなく音もなく
 白く静かに降る雪は
 君を慕いて嘆くころよ



佐呂間小唄

作詞 飯田 広太郎
作曲 松田 喜一

一、ハア 土も匂うか

あひの娘の鍬に
蝶がもつれる

ララ花も散る
広い牧場にや

夢見る牛よ
いとし羊が

それ誰れを呼ぶ
おいで佐呂間は

よいところ
アリアよいところ



佐呂間湖の夕陽

二、ハア 想いはるかな

佐呂間の湖に

汐風をうんだ

ララ真帆片帆

ふえる帆立に

かき鍋そえて

ちよいととりましょ

それ夫婦箸

おいで佐呂間は

よいところ

アリアよいところ



郊外の農耕風景

三、ハア 秋のみのりに

薄荷はつかのかおり

踊る若衆の

ララ伊達姿だてすがた

月が出たかよ

あのいただきに

曇りや紅葉もみぢの

ソレ時雨橋しぐれはし

おいで佐呂間さろまは

よいところ

アリアヤよいところ



景 風 木 伐

四、ハア 寒い北風

何つらからか

山やまじや伐木ばく

ララ雪ゆきげむり

街まちじや紡績ほうぎん

工場こうじょうの標しるしり

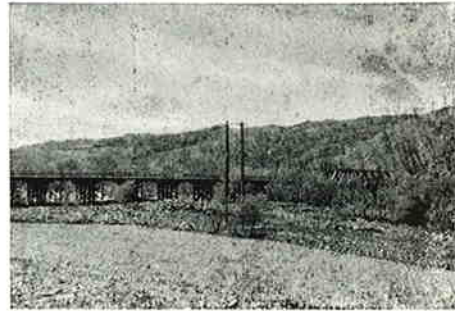
人のなさけで

ソレ糸いととなる

おいで佐呂間さろまは

よいところ

アリアヤよいところ



橋 雨 時

序

1. この要覧は佐呂間町勢の概要を知つて頂くために編纂しました。
2. 本書は主として昭和30年の統計を基礎とし、更に最新の事実につき判明の分を集録しました。
尙調査期日の異なるものには、各項の傍に調査期日を附記しました。
3. 本書は所管外の事項でも必要と認めたものは集録しました。
4. 本書によつて本町の現況を知り、且つ産業や文化発展の一助ともなれば幸甚です。

昭和32年1月1日

佐 呂 間 町 役 場

— 目

第 1 編 総 説

1. 位 置 及 地 勢…………… 5
2. 沿 革…………… 5
3. 町 名 起 源…………… 6
4. 町 章 の 由 来…………… 6

第 2 編 土 地

1. 位 置…………… 7
2. 広 袤…………… 7
3. 標 高…………… 7
4. 土 地 種 別…………… 7

第 3 編 戸 口

1. 戸 数 及 人 口…………… 9
2. 年 次 別 戸 口…………… 9
3. 人 口 動 態…………… 10
4. 産 業 別 人 口…………… 10
5. 外 国 人 登 録 人 員…………… 11

次 —

6. 部 落 別 戸 口…………… 11
7. 人 口 の 推 移…………… 12

第 4 編 行 政

1. 歴 代 理 事 者…………… 13
2. 各 種 委 員…………… 14
3. 町 議 会…………… 14
4. 町 議 会 議 員…………… 15
5. 町 職 員 数…………… 16
6. 選 挙 人 名 簿 登 録 人 員…………… 17

第 5 編 財 政

1. 予 算 決 算…………… 19
2. 昭 和 31 年 度 当 初 予 算…………… 19
3. 国 保 当 初 予 算…………… 20
4. 国 保 病 院 当 初 予 算…………… 21
5. 町 有 財 産…………… 21

第 6 編 教 育

1. 教育委員会……………23
2. 小 中 学 校……………23
3. 高 等 学 校……………24

第 7 編 保 健 衛 生

1. 保健衛生施設……………25
2. 衛 生 機 関……………25
3. 伝染病発生状況……………25
4. 病名別死亡者数……………26
5. 町 営 病 院……………26
6. 国保事業の概要……………28

第 8 編 産 業、經 済

1. 農家戸数及び農地面積……………29
2. 広狭別農家戸数……………29
3. 農家経営土地面積……………29
4. 主要農産物生産状況……………29

5. 農地改革による買取状況……………30
6. 農 機 具 台 数……………31

畜 産

1. 家畜飼養戸数及び頭数……………31

林 業

1. 所有別面積及び立木石数……………32
2. 伐採面積及び伐採数量……………32

鉱 業

商 業

1. 業 種 別 戸 数……………33

工 業

1. 業 種 別 戸 数……………33

水産業

1. 経 済 形 態……………34
2. 漁 業 権……………34
3. 漁 獲 高……………34

第 9 編 交 通、通 信

1. 道 路 橋 梁……………35

2. 鉄道	35
3. バス	36
4. 諸車	36
5. 通信	36
6. 電信電話	37
7. 郵便物	37
8. 貯金保険の状況	37

第10編 氣候

1. 月別平均気温及氣象類別	38
----------------	----

第11編 社 会

1. 保護状況	39
---------	----

第12編 社 寺、宗教

1. 宗教	39
-------	----

第13編 警察、消防

1. 警察	40
-------	----

2. 消防	41
-------	----

第14編 官行衙、団体

1. 官公衙その他	42
2. 主要工場及び事業場	43

第15編 公 職 者

1. 議会議員	45
2. 選挙管理委員	46
3. 農業委員	46
4. 民生委員	47
5. 公平委員	48
6. 町職員	48
7. 議会事務局職員	51
8. 農業委員会事務局職員	51
9. 教育委員会事務局職員	51

第 1 編 総 説

位 置 及 地 勢

本町は網走支庁管内の稍々中央に位し、東経 143度46分、北緯44度1分にあり、東は常呂郡常呂町に、西は常呂郡留辺蘂町、紋別郡生田原町、紋別郡湧別町に南は北見市に接し、北は一带にサロマ湖に面している。

本町の地勢は南北に狭長でであつて、教条の丘陵地帯を形成し、天北山系からなる連支脈の山々に囲まれ、地勢は南北に高く北方に傾斜している。

本町の中央を貫流するサロマ別川は留辺蘂町との境界分水嶺に源を発し、大、小の支流を合しサロマ湖に注ぐ。流域一帯は平坦地をなし、地味肥沃なる農耕適地にして水利良く、米、麦、豆、特用作物を産し、有畜業も盛んである。又サロマ湖は風光明媚にして、魚族の来遊多く漁業も盛んである。

沿 革

本町に和人の来住したのは文化五年（約百五十年前）江州の人藤野記郎兵松前藩の許可を得てサロマ湖で漁業を営んだのを嚆矢とする。超えて明治二十七年鈴木甚五郎、本町字川口に移住し、爾來和人の来往相置き、更に明治三十四年サロマベツ原野の区劃割が設定され、漸く農業経営の基礎が確立された。明治三十六年常呂郡常呂村外七ヶ村戸長役場の管轄となり、大正三年常呂村四ヶ村戸長役場より分離し、常呂郡鑑浦戸長役場が設置され、本町自治政の発足を見たのである。

超えて大正四年北海道二級町村制を実施せられ、同年十一月村名を佐呂間村と改称し、次で昭和十一年名寄線に通ずる西湧網線の開通し、全町の開発は一段と進み、昭和十八年四月北海道一級町村制の実施、昭和二十三

年四月一日若佐村を分村、昭和二十五年十一月十五日下湧別と境界変更をなし、下湧別村字床丹部落を本町に編入し、村民多年の宿望であつた町制を昭和二十八年四月一日施行、更に同年十月湧網線の全通を完成し、且又昭和三十一年九月三十日若佐村との合併成り、新生佐呂間町として現在戸数2,761戸、人口15,656人に達し、豊富な天然資源と地味肥沃の耕地、風美豊かにして魚族に富みたるサロマ湖を有する本町は、各種産業の発展は日に月に躍進の一途を辿り、前途洋々たるものあり。

町 名 起 源

佐呂間町という名称の起源はアイヌ語「サラオマベツト」（茅のある所の川の意）「サラオマ」（茅のある所の沼の意）よりサロマとなまりたるにより、大正四年佐呂間と和文に転用したものである。

町 章 の 由 来

昭和二十九年四月一日町制施行に際し制定、従来 of 村章を廃す。佐呂間の仮名文字「サロマ」の図案化であり、町民の心を一つに結ぶ円満な理想郷を表はしたものである。

第 2 編 土 地

1、位 置

東 經 1 4 3 度 4 6 分 北 緯 4 4 度 1 分

2、廣 袤

東西 31.321 軒 南北 18.180 軒 面積 411.659 平方軒 (26.682 方里)

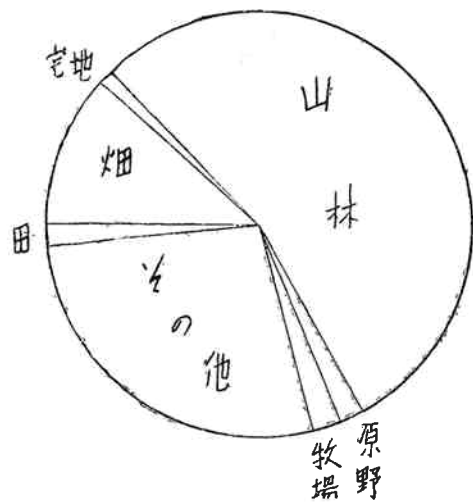
3、標 高

最高 海拔 515.1 米 佐呂間山頂 最低 水深 19 米 佐呂間湖

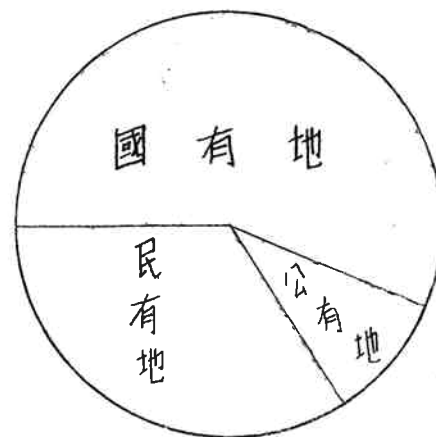
4、土 地 種 別

区 分	国 有 地	公 有 地	民 有 地	計
田			582.0町	582.0町
畑		29.0町	4,723.0	4,752.0
宅 地	1.3町	9.8	110.3	121.4
山 林	16,693.0	1,141.0	6,465.1	24,300.1
原 野		58.0	419.1	477.1
牧 場		78.0	351.0	429.0
そ の 他	7,655.2	1,474.0	438.6	9,567.8
計	24,349.5	2,789.8	13,090.1	40,229.4

地目別面積



所有別面積



第 3 編 戸 口

1、戸数及人口 (昭和30年10月1日現在)

区 分	世 帯 数	人 口		計
		男	女	
普通世帯	2,707	7,809	7,694	15,503
準世帯	54	109	44	153
計	2,761	7,918	7,738	15,656

2、年次別戸口

年 次	戸 数	人 口			一平方軒当り	
		男	女	計	戸 数	人 口
昭和 26 年	2,641 ^戸	7,931 ^人	7,717 ^人	15,648 ^人	6.4 ^戸	38.0 ^人
昭和 27 年	2,742	8,328	8,088	16,416	6.7	39.9
昭和 28 年	2,778	8,557	8,244	16,801	6.7	40.8
昭和 29 年	2,828	8,374	8,101	16,475	6.9	40.0
昭和 30 年	2,161	7,918	7,738	15,656	6.7	38.0

3、人口動態

(昭和30年10月1日現在)

年次	婚姻	離婚	出生			死亡		亡計
			男	女	計	男	女	
昭和26年	121件	4件	284人	242人	526人	70人	61人	131人
昭和27年	128	3	259	248	507	75	50	125
昭和28年	118	8	213	188	401	59	45	104
昭和29年	120	5	188	194	382	54	38	92
昭和30年	106	33	167	155	322	51	43	94

4、産業別世帯数及人口

産業別	農業	林業及び狩猟業	漁水産養殖業及び漁業	鉱業	建設業	製造業	卸売及び小売業	金融及び保険業	運輸通信業	サービス業	公務	無業	計
世帯数	1,485	84	106	21	79	190	159	66	135	274	81	68	2,721
人口	9,496	449	661	116	422	944	832	272	688	1,200	334	242	15,656
同稼働人口	5,013	199	255	35	161	302	389	122	201	596	109	—	7,382

5、外國人登録人員 (31.9未現在)

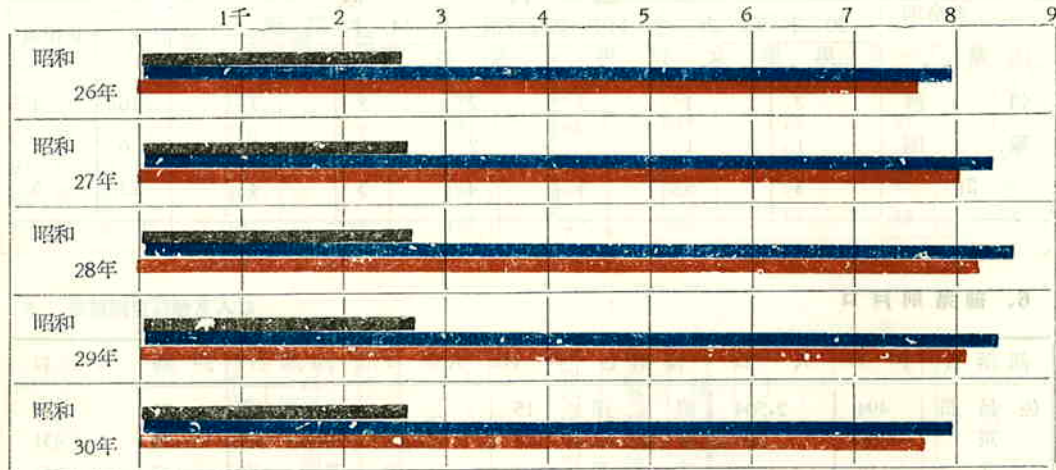
年令別 國籍	20才以上		14才~20才未満		14才未満		計	世帯数
	男	女	男	女	男	女		
朝鮮	2	4	3	2	2	3	16	4
韓国	1	1		2	1	1	6	1
計	3	5	3	4	3	4	22	5

6、部落別戸口

部落名	戸数	人口	部落名	戸数	人口	部落名	戸数	人口
佐呂間	494	2,504	浪速	15	73	中園	71	425
東	55	305	富武土	175	1,049	川西	70	431
北	117	636	若里	187	1,157	若佐	197	923
西富	88	550	共立	101	673	武土	88	481
知来	171	1,063	大成	99	638	朝日	50	316
仁倉	165	1,006	栄	78	325	富丘	54	336
浜佐呂間	242	1,354	啓生	38	246			
幌岩	96	535	栃木	110	630	計	2,761	15,656

7、人口推移

其人經受人測長 2



世帯	男	女	年度	世帯	男	女	
人口	黒	青	赤	26年	2.641	7.931	7.717
	黒	青	赤	27年	2.742	8.328	8.088
	黒	青	赤	28年	2.778	8.557	8.244
	黒	青	赤	29年	2.828	8.374	8.101
	黒	青	赤	30年	2.761	7.918	7.738

第 4 編 行 政

1、歴代理事者

区 分	氏 名	就任年月日	退任年月日	在 職 期 間	摘 要
1	高 橋 榮 昭	大 3. 4. 1	大 10. 7. 16	6 年 4 月	
2	小 野 寺 吉 太 郎	大 10. 7. 2	大 11. 7. 2	1 年 1 月	
3	藤 本 秀 彦	大 11. 8. 13	大 11. 12. 22	4 月	
4	森 垣 幸 一	大 11. 12. 27	大 14. 1. 1	2 年	
5	二 村 浩	大 14. 1. 2	昭 2. 5. 25	2 年 5 月	
6	石 上 市 太 郎	昭 2. 5. 26	昭 4. 10. 25	2 年 5 月	
7	西 田 要 四 郎	昭 4. 10. 26	昭 7. 8. 17	2 年 10 月	
8	荒 川 宏 力	昭 7. 8. 18	昭 11. 4. 9	3 年 9 月	
9	竹 内 京	昭 11. 4. 10	昭 15. 5. 10	4 年 2 月	
10	荒 木 徳 次 郎	昭 15. 5. 31	昭 18. 7. 8	3 年 2 月	
11	大 橋 与 三	昭 18. 7. 8	昭 21. 11. 7	3 年 4 月	
12	榮 時 治	昭 22. 4. 5	昭 26. 4. 4	4 年	第一回公選
13	榮 時 治	昭 26. 4. 24	昭 26. 6. 19	3 年 2 月	第二回公選
14	船 木 長 一 郎	昭 29. 8. 8	昭 31. 10. 13	2 年 4 月	第三回公選
15	船 木 長 一 郎	昭 31. 10. 29			第四回公選

2、各種委員

選挙管理委員	民生委員	農業委員	統調査員	社会教育委員	臨時出納検査立会人	国保運営委員
3名	24	40	92	15	4	11

3、町議会 (昭和31年度)

議員定数	現在員数	招集回数		会議日数	提出案件	議決案件	摘要
		定例	臨時				
22	38	1	9	12	72	72	

4、町 議 会 議 員

(昭和30年4月30日)改選 (定員38名)
(昭和31年6月8日)

議席 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
氏名	香川嘉太郎	佐藤幸吉	林貞夫	遠藤留八郎	田中要作	豊田豊啓	武田豊共	渡部音春	山内弥太郎	山元邦良	曾我大藏	久米田鶴夫	田宮弥之助	峯崎辰藏	玉井繁太郎	中西武雄	佐藤正共	中村正仁	山越末五郎	片岡丑治	山添武仁	小野寺博大	中谷末吉	福田幸教	田中喜重	黒沢謙知	伊藤太郎	門崎友一	道下吉秀	大沢佐太郎	
住所	中園	若浜	呂若	里若	来若	生若	立若	丘若	成若	町若	士若	農若	立若	木若	重若	商若	立若	倉若	士若	成若	倉若	成若	佐若	日若	町若	町若	来若	町若	園若	東若	富若
職業	農業	工業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	商業	商業	農業	農業	農業	農業	農業	木材業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業
年令	58	61	51	57	63	49	43	54	57	55	37	38	58	53	53	47	55	54	59	58	42	35	40	44	40	56	48	44	44	44	

議席 区分	31	32	33	34	35	36	37	38
氏名	江田喜太郎	西田要造	郡利夫	田村稔	杉谷保	西喜作	船木長藏	山内春芳
住所	若里	宮前	仁倉	濱佐	呂里	若里	富武	幸町
職業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業
年令	55	48	52	59	44	40	48	48

議 長 山内春芳
 副 議 長 香川嘉太郎
 委 員 会 四
 總 務 財 政 長 西田要造
 社 会 文 教 長 山元邦良
 社 會 文 教 副 長 林貞夫
 産 業 長 片岡丑治
 産 業 副 長 船木長藏
 工 業 長 山内弥太郎
 工 業 副 長 田村稔
 委 員 數 九

5、町職員数

町長 船木 長一郎
 助役 出倉 定夫
 " 土田 正
 収入役 山口 愛光

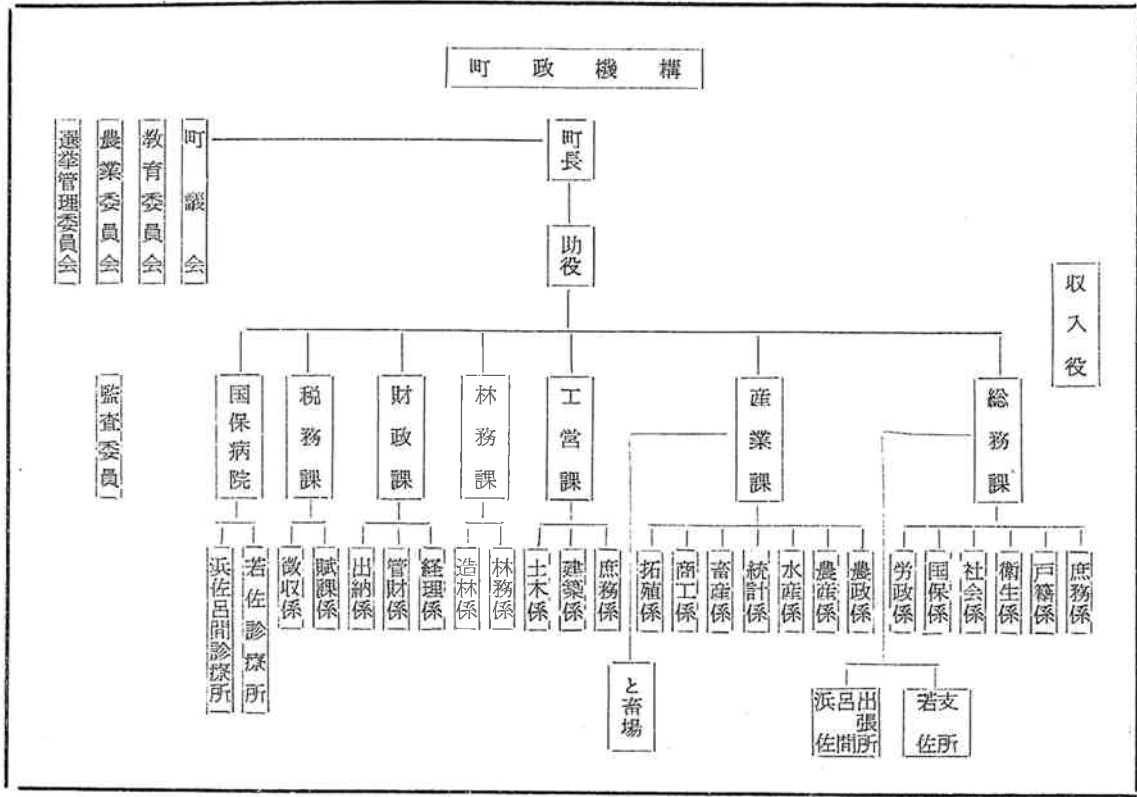
課別		区別	主事	技師	書記	技手	事務補	公務補	雇傭人	計
総務課 財政課 税務課 産業課 営務課 工務課 林務課 支所 出張所	課		4		5		3	1	1	14
	課		3		2		1			6
	課		1		5					6
	課		5	1	5		1			12
	課			4		2			2	8
	課			2	1				1	4
	所		3		3		2	1		9
	所		1		1					2
	計		17	7	22	2	7	2	4	61

6、選挙人名簿登録人員

(昭和31年9月15日現在)

投票区別				有権者数	男	女	計	
第	一	投	票	区	943	951	1,984	
第	二	投	票	区	268	258	526	
第	三	投	票	区	264	254	518	
第	四	投	票	区	347	360	707	
第	五	投	票	区	105	101	206	
第	六	投	票	区	54	51	105	
第	七	投	票	区	265	257	522	
第	八	投	票	区	140	140	280	
第	九	投	票	区	307	300	607	
第	十	投	票	区	461	473	934	
第	十	一	投	票	区	150	142	292
第	十	二	投	票	区	78	76	152
第	十	三	投	票	区	86	91	177
第	十	四	投	票	区	180	172	352
第	十	五	投	票	区	72	60	132
第	十	六	投	票	区	240	229	469
第	十	七	投	票	区	181	200	381
		計			4,141	4,115	8,256	

町 政 機 構



第 5 編 財 政

1、予 算 決 算

年 度	予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
昭 和 2 6 年	40,131,852	35,446,354	35,307,875
昭 和 2 7 年	52,912,197	53,688,952	50,113,448
昭 和 2 8 年	90,231,434	85,700,830	84,955,741
昭 和 3 9 年	81,828,000	79,189,927	76,664,952
昭 和 3 0 年	70,039,000	69,726,807	68,580,671

2、昭和31年度當初予算

(単位千円)

歳 入		歳 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
1. 町 税	38,195	1. 議 会 費	1,979
2. 地 方 交 付 税	24,000	2. 役 場 費	21,688
3. 公営企業及財産収入	6,831	3. 警 察 消 防 費	6,757
4. 使用料及手数料	3,795	4. 土 木 費	12,678
5. 国庫支出金	8,074	5. 教 育 費	25,458
6. 道 支 出 金	2,346	6. 社会及労働施設費	984
7. 寄 附 金	1,900	7. 保 健 衛 生 費	835
		8. 産 業 経 済 費	7,998

8. 繰越金	501	9. 財産費	5,128
9. 雑収	4,808	10. 統計調査費	517
10. 町債	7,920	11. 選挙費	494
		12. 公債費	9,430
		13. 諸支出金	4,115
		14. 予備費	250
計	98,372	計	98,372

3. 昭和31年度國保當初予算

(単位千円)

歳入		歳出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
1. 国民健康保険税	8,402	1. 役場費	2,355
2. 使用料及手数料	13	2. 保険給付費	7,913
3. 国庫支出金	4,067	3. 保険施設費	576
4. 道支出金	570	4. 病院費	3,520
5. 繰入金	467	5. 公債費	492
6. 繰越金	10	6. 諸支出金	326
7. 雑収	24	7. 予備費	81
8. 町債	1,710		
計	15,263	計	15,263

4. 昭和31年度國保病院當初予算

歳入		歳出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
1. 診療収入	13,006	1. 施設費	16,467
2. 一部負担金	4,548	2. 公債費	1,529
3. 繰入金	500	3. 諸支出金	145
4. 手数料	30	4. 予備費	40
5. 雑収入	97		
計	18,181	計	18,181

5. 町有財産

1. 土地の部

(単位千円)

地 目	収 益 地		無 収 益 地		計		
	反 別	時 価	反 別	時 価	反 別	時 価	
宅 地	反	1.129	反	78.821	反	80.020	24.738
田 畑		43.205		114.026		157.301	8.283
山 林 原 野		5,825.213		1,901.308		7,726.521	100.446
そ の 他		4,966.827		782.307		5,749.204	28.746
計		10,836.514		2,876.602		13,713.116	162.213

2. 建物の部

構 造 種 別	取 益 家 屋		無 取 益 家 屋		計	
	坪 数	時 価	坪 数	時 価	坪 数	時 価
木造垂鉛葺平屋建			1,121.08坪	22,422	1,121.08	22,422
木造桧葺平屋建			4,080.72	51,009	4,080.72	51,009
木造桧葺二階建			483.00	6,279	483.00	6,279
ブロック造垂鉛葺平屋建	300.00坪	16,500	6.00	60	306.00	16,560
ブロック造桧葺平屋建			25.00	1,250	25.00	1,250
望 楼			3基	290	3基	290
サ イ ロ			1基	90	1基	90
火 葬 電			7基	840	7基	840
便 溜			1基	10	1基	10
計		16,500		82,250		98,750